

# 国語2年

光村図書版 [国語] 準拠

## 本書のねらい

本書は日常の学習を通じて、教科書の内容を理解し、定着させるためのテキストです。

まず、教科書の単元内容の理解に必要な基本知識を学習できるように単元の要点をまとめています。次に「読む」単元の学習に必要な読解力や記述力、「話す・聞く」「書く」「情報」などの単元で行う活動につながる実践力、これらを強化していくために多彩な問題を掲載しています。

以下のような構成で、日々の授業の復習から定期テスト対策まで、効率よく学習することができます。

## 本書の構成

### 単元の確認

【全体像の確認】→【全体像の確認問題】(論説・小説など)

文章内容をまとめた図を中心に、全体像をつかみ、問題を解いて確認します。

文章中のキーワードは、太字で示しています。

【作者・作品の確認】→【作者・作品の確認問題】(古典・詩歌)

作者・作品・作品背景などをつかみ、問題を解いて確認します。(重要語句は太字で示しています。)

### 知識の確認 (古典・詩歌)



### 知識の確認問題 (古典・詩歌)

内容理解に必要な知識事項をまとめた一覧表などで学習し、一問一答形式の問題を解いて確認します。

古典の歴史的仮名遣い・返り点・送り仮名、詩歌の形式や表現技法など

### 漢字・語句の確認

新しく学習する漢字の読み書き・語句の意味を中心に、文章を読むための基礎事項を問題で確認します。

### 必修問題

教科書の文章内容を理解し、基本的な読解力を身につけるための問題です。

さまざまな形式の問題を解きながら、文章を読み深めます。

### 定期テスト 得点UP問題

身に付けた読解力・記述力の、さらなる向上を目指します。

定期テストの頻出部分に再度取り組み、より難易度が高く、角度の違う問題を解くことで、さまざまな問題への対応力を身につけます。

### マークについて

よく出題される問題です。  
思考力判断力表現力  
さまざまな角度から物事を捉えたり、考えて表現したりすることによって「思考力判断力表現力」を伸ばす問題です。

### その他の単元の構成

### 「話す・聞く」「書く」「情報」などの単元

【知識の確認】→【知識の確認問題】

定期テストで出題されやすい知識事項を中心に、実際の活動に生かせる実践問題にも取り組みます。

### 文法単元

【文法の確認】・【文法の確認問題】→【定期テスト得点UP問題】

上段の文法事項のまとめを参考にしながら、下段の問題を解き、最後に総合的な問題に取り組みます。

# 目次

国語2年

光村図書版「国語」連版

単元名  
単元名  
単元名  
単元名

単元名  
単元名  
単元名  
単元名

1	見えないだけ	4	巻頭	/
2	アイスプラネット	7	14 25	/
3	「聞く」問いを立てながら聞く 季節のしおり春	17	26	/
4	枕草子	18	27 31	/
5	情報整理のレッスン 思考の視覚化 多様な方法で情報を集めよう	28	32 33	/
6	職業ガイドを作る 漢字ー 熟語の構成 漢字に親しもうー	29	34 37	/
7	クマゼミ増加の原因を探る	30	38 39	/
8	思考のレッスンー 具体と抽象 魅力的な提案をしよう	31	40	/
9	資料を示してプレゼンテーションをする 漢字に親しもうー	32	42 51	/
10	メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう	44	54 57	/
11	「自分で考える時間」をせよう	45	58	/
	情報社会を生きる	46	60 61	/
	メディアを比べよう	47	64 66	/

22	根拠の適切さを考えて書くー 意見文を書く 漢字に親しもうー4	97	134 137	/
23	「討論」異なる立場から考える 立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する	98	138	/
24	音読を楽しもう 月夜の浜辺 季節のしおり秋	99	139	/
25	音読を楽しもう 月夜の浜辺 季節のしおり秋	100	140 143	/
26	6 いにしへの心を訪ねる 音読を楽しもう 平家物語 扇的ー「平家物語」から 仁和寺にある法師ー「徒然草」から	101	146 144 145	/
27	漢詩の風景	103	151 157	/
28	7 価値を語る 君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しき 魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く	115	158 161	/
29	漢字に親しもうー	115	151 157	/
30	漢字に親しもうー	122	162 168	/
31	読書に親しむ 研究の現場に ようこそ クモの糸でバイオリン 日本に野生のソウヤサイがいた頃 季節のしおり冬	132	170 183	/
	読書に親しむ	144	184 185	/
	読書に親しむ	145	186	/
	読書に親しむ	146	188 189	/
	読書に親しむ	194	190	/



# 1 見えないだけ

## ● 単元の確認 ●

### ● 作者・作品の確認

● 詩の作者 牟礼慶子（むれけいこ）：一九二九年～二〇二二年。東京都生まれ。詩集「来歴」「魂の領分」など。  
● 作品

見えないだけ

「空の上には／もつと……」  
「波の底には／もつと……」  
「胸の奥で……」  
「次の垣根で……」  
「少し遠くて……」

第一連

「見えないところに無限で未知の世界が広がっている。」

ありふれた日常にも、今は見えない優しく新しい出会いが広がっている。

「蕾……将来への希望の比喻」

第二連

・世界や自分の内面、未来に「確かに在る」ものは、  
「見えないだけ」  
「まだ」  
←

今は見えなくても、明るい未来は確かに在る。

### ■ 作者・作品の確認問題

1 「見えないだけ」の作者名を漢字で書きなさい。

2 「見えないだけ」は何連で構成されていますか。漢数字で答えなさい。

連



「見えないだけ」で表現されていることをまとめた次の文の□に当てはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

作者は、今は□  
ていおうとしている。最後の行に「□」  
ることによって、この先の明るい未来に期待を抱かせている。  
詩のタイトルの、「□」は、  
今は見えない明るい未来が、「□」  
を伝えようとしている。

3 「見えないだけ」で表現されていることをまとめた次の文の□に当てはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

作者は、今は□  
ていおうとしている。最後の行に「□」  
ることによって、この先の明るい未来に期待を抱かせている。  
詩のタイトルの、「□」は、  
今は見えない明るい未来が、「□」  
を伝えようとしている。

## ■ 知識の確認

### 1 詩の分類

(1) 用語による分類

文語詩	古い言葉や文法（文語）を使って書かれた詩。
口語詩	現代の話し言葉（口語）に近い文体で書かれた詩。

(2) 形式による分類

定型詩	五音・七音など、音数に一定の決まりがある詩。
自由詩	音数に一定の決まりがない、自由な形式で書かれた詩。

知識の確認問題

1 用語・形式 次の詩の用語・形式を、に当てはまるように書きなさい。

① 口語で書かれ、音数に一定の決まりがある詩。

語 詩

表現技法の効果 ↓ リズムを生んだり、印象を深めたりすることができる。

倒置	対句	反復	体言止め	比喩	
				擬人法	直喩
効果 歯切れのいいリズム・情景や心情の強調 方法。普通の高い方と、言葉の順序を入れ替える方法。	効果 歯切れのいいリズム・情景や心情の強調 方法。言葉の形や意味が対応するように並べる方法。効果 整然とした印象	効果 重ねかけるリズム・繰り返された情景や心情の強調 方法。同じ言葉を繰り返す方法。	効果 しみじみとした余韻 行末を体言(名詞)で終える方法。	効果 強い印象 「ようだ」などを使わずにたとえる方法。	効果 情景・心情がわかりやすい 「ようだ」などを使わずにたとえる方法。
例 ああ山に登りたい、いつか。	例 花は野に咲き、鳥は木にさえずる。	例 鳥が鳴く、鳥が鳴く。	例 目の前には海。	例 母は我が家のひまわりだ。	例 母はひまわりのようだ。

2 詩の表現技法

例文語で書かれ、音数に一定の決まりがある詩 ↓ 「文語定型詩」  
「見えないだけ」は口語自由詩である。

詩の用語・形式  
(1) 用語による分類 (2) 形式による分類  
(1)・(2)を組み合わせて「語 詩」と表す。

② 文語で書かれ、音数に一定の決まりがない、自由な形式で書かれた詩。

語 詩

2 用語・形式 「見えないだけ」の詩の用語・形式を、漢字五字で書きなさい。

3 表現技法 次の表現技法の名称を漢字を使って書きなさい。

① 言葉を形や意味が対応するように並べる。

② 行末を体言(名詞)で終える。

③ 人てないものを人にたとえる。

④ 普通の言い方と、言葉の順序を入れ替える。

4 表現技法 次の表現には、どのような表現技法が使われていますか。漢字を使って書きなさい。

① ことばはぐくむ世界。

② 僕の前に道はない

僕の後ろに道は出来る

③ 小さな風車が

くるり くるり

くるり くるり

と、

まわる、まわる

必修問題

得点 100 教科書 巻頭

次の詩を読んで、後の問いに答えなさい。

見えないだけ 牟礼慶子

空の上には  
 もっと青い空が浮かんでいる  
 波の底には  
 もっと大きな海が眠っている  
 胸の奥で  
 ことばはぐくんでいる優しい世界  
 次の垣根で  
 蕾をさし出している美しい季節  
 少し遠くて  
 待ちかねている新しい友だち  
 あんなに確かに在るものが  
 まだここからは見えないだけ

12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

※1～12は、行番号を表します。

(1) 出る この詩の用語・形式として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。(10点)

- ア 文語定型詩
- イ 文語自由詩
- ウ 口語定型詩
- エ 口語自由詩

□

(2) 出る 詩の1～4行目で使われている表現技法として適切なものを次から全て選び、記号で答えなさい。(完答20点)

(完答20点)

- ア 擬人法
- イ 倒置
- ウ 対句
- エ 直喩

(3) この詩で体言止めが使われている行の行番号を全て書きなさい。(完答20点)

□

(4) 詩の1～4行目では、どのようなことをいつていますか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。(10点)

- ア 目に見えるものだけを信じるのではなく、自然科学を学んで真理を知る必要があるということ。
- イ 自分に見えている空や海と、他人に見えている空や海は、まったく違う場合があるということ。
- ウ 目に見えているところだけではなく、その向こうにも、世界は大きく広がっているということ。
- エ 自分に見えている身近な場所だけにこだわらないで、別のどこかへ旅に出てみたいということ。

□

(5) 線「ここ」とありますが、何を指していると考えられますか。簡潔に書きなさい。(20点)

□

(6) この詩に表現されている作者の気持ちとして適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。(20点)

- ア まだ見えないだけだから悲しまないと伝えようとする気持ち。
- イ 在るはずのものが見えないことの寂しさを伝えようとする気持ち。
- ウ 未来が予想できることの不思議さを感じてほしいと願う気持ち。
- エ これからの出会いや経験に期待して今を過ごしてほしいと願う気持ち。

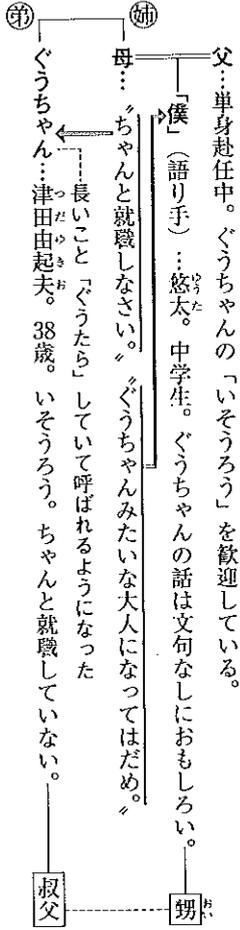
□

# 2 アイスプラネット

## ●単元の確認●

### 全体像の確認

#### ●登場人物の設定



#### ●ぐうちゃんのほら話

- 「怪しい」けれど「おもしろい」。
- 「ありえねえ」ような話。
- アマゾンの水蛇「アナコンダ」：馬も飲み込む
- アマゾンにいるナマズ：三メートル
- 北極の「アイスプラネット」：小さな氷の惑星

#### ●証拠の写真を見せないぐうちゃん

- 「本当なら証拠の写真を見せろよ」
- 写真を見せないぐうちゃん(言い逃れ?)
- ↓ぐうちゃんと距離を置く

#### ●僕の人生が全面的にからかわれた

- 「僕」：久しぶりにほら話を聞きたい
- ↓ぐうちゃん「また外国をふらふらしてくる」
- ↓ぐうちゃんとの関係が悪化

#### ●ぐうちゃんの手紙と写真

- 「勝手に行けばいいじゃないか。」
- ↓ぐうちゃん「また外国をふらふらしてくる」
- ↓ぐうちゃんとの関係が悪化

「不思議アタマ」になって世界に出ていく。

世界は、楽しいこと、悲しいこと、美しいこと、満ち満ちていること、誰もが一生懸命生きていることを、自分の目で確かめてほしい。

### 全体像の確認問題

登場人物の言動に着目し、各人物の考え方や生き方を捉える。  
登場人物の設定に着目し、人物どうしの関係や考え方がどのように変化していくかを読み取る。

1 母の弟であるおじさんのことを、「僕」は何と呼んでいますか。また、どうしてそういう呼び名になったのですか。呼び名と理由を書きなさい。

呼び名

理由

2 ぐうちゃんは「僕」の家でどのような立場にありますか。五字で書きなさい。

3 外国から届いたぐうちゃんの手紙は、どのようなものでしたか。次の文の□に当てはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

に感動した話と、

で確かめてほしいという、

が入っていた。

4 ぐうちゃんの手紙と写真からどのようなことがわかりましたか。次の文の□に当てはまる言葉を書きなさい。

ではなかったということ。

◆ 漢字・語句の確認 ◆

教科書 p. 14-25

◆ 漢字の読み書き — 線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。

□ ① ご飯の支度をする。

□ ② 六畳間がある。

□ ③ いそろうを歓迎する。

□ ④ テーマが幼稚すぎる。

□ ⑤ 馬の脚の骨。

□ ⑥ よく勘違いする。

□ ⑦ 小さな氷の惑星。

□ ⑧ いつもより雄弁だ。

□ ⑨ 極端な話をする。

□ ⑩ 急に寂しく感じられる。

□ ⑪ 慌てて走る。

□ ⑫ 手を握りしめる。

□ ⑬ 親の弟は「叔父」。

□ ⑭ 親の兄は「伯父」。

□ ⑮ 母にオコられる。

□ ⑯ 東京のコウガイ。

□ ⑰ 単身フニン中の父。

□ ⑱ ユイイツの宝物。

□ ⑲ アヤしい話。

□ ⑳ 写真をとる。

□ ⑳ 彼はほらフキだ。

□ ㉑ トツゼン話しだす。

□ ㉒ オオマタで歩く。

□ ㉓ 外国のフウトウ。

□ ㉔ 切手をハる。

□ ㉕ 文字がツまる。

◆ 語句の意味 次の語句の意味を、に言葉を当てはめて完成させなさい。

① 精密  ところまで行き届いて、正確なこと。

② 蛇行 ヘビがはうように、 こと。

③ 口実  をするための理由や材料。

④ 気まま  に振る舞うこと。

⑤ 極端 非常に  こと。

◆ 短文作成 次の語句を使って、短文を作りなさい。

① いかにも

② はるかに

③ めったに……ない





て、目をパチパチさせている。

「これまで撮ってきた写真をそろそろちゃんと整理して紙焼きにしないと、  
③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍 㹎 㹏 㹐 㹑 㹒 㹓 㹔 㹕 㹖 㹗 㹘 㹙 㹚 㹛 㹜 㹝 㹞 㹟 㹠 㹡 㹢 㹣 㹤 㹥 㹦 㹧 㹨 㹩 㹪 㹫 㹬 㹭 㹮 㹯 㹰 㹱 㹲 㹳 㹴 㹵 㹶 㹷 㹸 㹹 㹺 㹻 㹼 㹽 㹾 㹿 㺀 㺁 㺂 㺃 㺄 㺅 㺆 㺇 㺈 㺉 㺊 㺋 㺌 㺍 㺎 㺏 㺐 㺑 㺒 㺓 㺔 㺕 㺖 㺗 㺘 㺙 㺚 㺛 㺜 㺝 㺞 㺟 㺠 㺡 㺢 㺣 㺤 㺥 㺦 㺧 㺨 㺩 㺪 㺫 㺬 㺭 㺮 㺯 㺰 㺱 㺲 㺳 㺴 㺵 㺶 㺷 㺸 㺹 㺺 㺻 㺼 㺽 㺾 㺿 㻀 㻁 㻂 㻃 㻄 㻅 㻆 㻇 㻈 㻉 㻊 㻋 㻌 㻍 㻎 㻏 㻐 㻑 㻒 㻓 㻔 㻕 㻖 㻗 㻘 㻙 㻚 㻛 㻜 㻝 㻞 㻟 㻠 㻡 㻢 㻣 㻤 㻥 㻦 㻧 㻨 㻩 㻪 㻫 㻬 㻭 㻮 㻯 㻰 㻱 㻲 㻳 㻴 㻵 㻶 㻷 㻸 㻹 㻺 㻻 㻼 㻽 㻾 㻿 㼀 㼁 㼂 㼃 㼄 㼅 㼆 㼇 㼈 㼉 㼊 㼋 㼌 㼍 㼎 㼏 㼐 㼑 㼒 㼓 㼔 㼕 㼖 㼗 㼘 㼙 㼚 㼛 㼜 㼝 㼞 㼟 㼠 㼡 㼢 㼣 㼤 㼥 㼦 㼧 㼨 㼩 㼪 㼫 㼬 㼭 㼮 㼯 㼰 㼱 㼲 㼳 㼴 㼵 㼶 㼷 㼸 㼹 㼺 㼻 㼼 㼽 㼾 㼿 㽀 㽁 㽂 㽃 㽄 㽅 㽆 㽇 㽈 㽉 㽊 㽋 㽌 㽍 㽎 㽏 㽐 㽑 㽒 㽓 㽔 㽕 㽖 㽗 㽘 㽙 㽚 㽛 㽜 㽝 㽞 㽟 㽠 㽡 㽢 㽣 㽤 㽥 㽦 㽧 㽨 㽩 㽪 㽫 㽬 㽭 㽮 㽯 㽰 㽱 㽲 㽳 㽴 㽵 㽶 㽷 㽸 㽹 㽺 㽻 㽼 㽽 㽾 㽿 㿀 㿁 㿂 㿃 㿄 㿅 㿆 㿇 㿈 㿉 㿊 㿋 㿌 㿍 㿎 㿏 㿐 㿑 㿒 㿓 㿔 㿕 㿖 㿗 㿘 㿙 㿚 㿛 㿜 㿝 㿞 㿟 㿠 㿡 㿢 㿣 㿤 㿥 㿦 㿧 㿨 㿩 㿪 㿫 㿬 㿭 㿮 㿯 㿰 㿱 㿲 㿳 㿴 㿵 㿶 㿷 㿸 㿹 㿺 㿻 㿼 㿽 㿾 㿿 ̀ ́ ̂ ̃ ̄ ̅ ̆ ̇ ̈ ̉ ̊ ̋ ̌

必修問題(8)

得点

100

教科書

p. 20, 22

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

九月の新学期が始まってしばらくした頃、各地の川を測量する仕事に出ていたぐうちゃんが、久しぶりに「僕」の家に戻ってきた。いつもより少し長いぐうちゃんの不在を、「僕」は寂しく感じていたところだった。

残暑が厳しい日だった。久しぶりにぐうちゃんのほら話を聞きたいと思つた。またからかわれてもいい。暑いから、今度は寒い国の話が聞きたいと感じた。

ところが、ぐうちゃんの話は、てつかい動物のでも、暑い国のでも、寒い国の話でもなかった。

「旅費がたまつたから、これからまた外国をふらふらしてくるよ。」

ぐうちゃんは突然そう言った。「でもまあもう少し。」にはこんな意味があつたのか。ぐうちゃんはいつもと変わらずに話を続けている。それなのに、ぐうちゃんの声はどんどん遠くなっていく。気がつく、僕はぶつきらぼうに言つていた。

「勝手に行けばいいじゃないか。」

ぐうちゃんは、そのときちよつと驚いた表情をした。何かを話しかけようとするぐうちゃんを残して僕は部屋を出た。

それ以来、僕は二度とぐうちゃんの部屋には行かなかつた。母は、そんな僕たちに、あきれたり慌てたりしていたけれど、父は何も言わなかつた。十月の初めに、ぐうちゃんは小さな旅支度をして「いそろう」を卒業してしまつた。

出発の日、僕は、何て言つていいのかわからないままぐうちゃんの前に立つていた。ぐうちゃんは僕に近づき、あの表情で笑つた。そして、何も言わずに僕の手を握りしめ、力の籠もつた強い握手をして、大股で僕の家を出ていった。

20

(1) 線①「ぐうちゃんの声はどんどん遠くなっていく」とありますが、これはどんな様子を描写したのですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。(10点)

ア 元氣のない「僕」の様子を見て、ぐうちゃんの話す声の大きさがどんどん小さく不明瞭めいりょうになっていく様子。

イ ほら話を期待していたところにぐうちゃんがいなくなると知つた「僕」が、心の隔へだたりを感じている様子。

ウ 旅の支度をしていくぐうちゃんが忙しくて、話しながらだんだん「僕」から離れた場所に移動していく様子。

エ 久しぶりにぐうちゃんの話を知りたいのに、話がいつもより難しくして「僕」の理解が追いつかない様子。

(2) 線②「母は、そんな僕たちに、あきれたり慌てたりしていた」とありますが、母はどんなことに「あきれたり慌てたりしていた」のですか。「外国」という言葉を使って四十字程度で書きなさい。(30点)

Grid for writing answer to question 2. The grid is 10 columns wide and 10 rows high. A small number '10' is written in the 4th row, 4th column.

(3) 線③「アイスプラネット」について、次の各問いに答えなさい。

1 「アイスプラネット」という言葉を、ぐうちゃんは手紙の中でどんな言葉に言い換えていますか。文章中から二つ、四字と七字で抜き出さない。(5点×2)

Grid for writing answer to question 3.1. The grid is 10 columns wide and 10 rows high.

2 「アイスプラネット」とは、実際にはどのようなものですか。それをぐうちゃんが説明している部分を文章中から連続する二文で抜き出し、初め

「ほらばっかりだったじゃないか。」

「いそろう」がいなくなってしまうた部屋の前で、僕はそう思った。

25

ぐうちゃんから外国のちよつとしゃれた封筒で僕に手紙が届いたのは、それから四か月ぐらいたってからだだった。珍しい切手がいっぱい貼ってあった。

「あのときの話の続きだ。以前若い頃に、北極まで行ってイヌイットと暮らしていたことがあるんだ。そのとき、<sup>③</sup>アイスプラネットを見に行こう、と友達になったイヌイットに言われてカヌーで北極海に出た。アイスプラネット。わかるだろう。氷の惑星だ。それが北極海に本当に浮かんでいたんだ。きれいだったよ。厳しい自然に生きている人だけが目にできる、もう一つの宇宙なんだな、と思ったよ。地上十階建てのビルぐらいの高さなんだ。そして、海の中の氷は、もつともつとつかい。悠君にもいつか見てほしい。若いうちに勉強をたくさんして、<sup>④</sup>いっばい本を読んで、いっばいの『不思議アタマ』になって世界に出かけていくとおもしろいぞ。世界は、楽しいこと、悲しいこと、美しいことで満ち満ちている。誰もが一生懸命生きている。それこそありえないほどだ。それを自分の目で確かめてほしいんだ。」

40

手紙には、ぐうちゃんの力強い文字がぎっしり詰まっていた。

そして、封筒からは写真が二枚出てきた。一枚は人間の倍ぐらいあるでっかいナマズの写真。もう一枚は、北極の海に浮かぶ、見た者を幸せにするという氷の惑星<sup>⑤</sup>の写真だった。

45

〈椎名誠「アイスプラネット」より〉

（注）「でもまあもう少し。」、「僕」の母に、ちゃんと就職して独立し、「いそろう」を卒業しろと怒られたときの、ぐうちゃんの反応。

「いそろう」を卒業しろと怒られたときの、ぐうちゃんの反応。

と終わりの五字を書きなさい。

(10点)


(4) — 線④「いっばいの……おもしろいぞ」について、次の各問いに答えなさい。

さい。

- 1 「いっばいの『不思議アタマ』になって」とは、どのような状態のことを表現していますか。適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。(10点)
- ア いろいろな本を読んで物知りになり、全ての疑問がなくなった状態。
- イ 想像力を膨らませて、誰も思いつかないような文章や絵を作れる状態。
- ウ 世界のいろいろなことに興味を持ち、知りたいことであふれている状態。
- エ 勉強をする中で、自分と気の合う友達がたくさん集まってきた状態。

--

2 出る「ぐうちゃんは、「僕」に、自分で世界に出かけることでどのようなことを知ってほしいと思っていますか。次の文の□に当てはまる言葉を、それぞれ文章中から抜き出さなさい。(10点×2)

--

・世界が  
であふれていること。

--

(5) — 線⑤「写真が二枚」とありますが、この写真は、「僕」にどのようなことを伝えていきますか。適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。(10点)

ア ぐうちゃんは、今回の旅の目的を果たすことができたということ。

イ ぐうちゃんの話には、ときどき本当のことが混じっているということ。

ウ 世界のすばらしさは、写真や文字を通してこそ正確に伝えられるということ。

エ 世界には、想像を超えるものが存在しているのだということ。

--



## 定期テスト 得点UP問題

得点

100

④ 次の[A]・[B]の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

[A] 翌日、学校に行く途中で、同じクラスの吉井と今村に会った。初めはどうしようかと思ったけど、馬も飲んでしまおうつかいアナコンダや、三メートルもあるナマズの話はおもしろかったし、氷の惑星の話も、本当だったらきれいだろうなと思ったから、つい吉井や今村にその話をしてしまった。二人は僕の話が終わると顔を見合わせて、「ありえねえ。」「証拠見せるよ。」と言った。「そんなほら話、小学生でも信じないぞ。」そう言われればそうだ。だから、部活が終わって大急ぎで家に帰ると、僕は真つ先にぐうちゃんの部屋に行つて、「昨日の話、本当なら証拠の写真を見せろよ。」と無愛想に言った。ぐうちゃんは少し考えるしぐさをして、「そうだなあ。」と言って、目をパチパチさせている。「これまで撮ってきた写真をそろそろちゃんと整理して紙焼きにしないと、と思っているんだ。そうしたらいろいろ見せてあげるよ。」

⑤ むつとした。そんな言い逃れをするぐうちゃんは好きではない。なんかぐうちゃんに僕の人生が全面的にからかわれた感じだ。吉井や今村に話をした分だけ損をした。いや失敗した。僕までほら吹きになってしまったのだ。

それから夏休みになつてすぐ、ぐうちゃんはいつともより少し長い仕事に出た。15 関東地方の各地の川の測量をするということだった。僕は人生を全面的にからかわれて以来、あまりぐうちゃんの部屋に行かなくなっていたから、気にも留めなかった。

⑥ 夏休みも終わり近く、いつものように週末に帰ってきた父と母が話しているのが、風呂場にいる僕の耳にも入ってきた。

「僕たちは、都市のビルの中にあるからなかなか気がつかないけど、由起夫君は若い頃に世界のあちこちへ行っていたから、日本の中にいたら気がつかないことがいっぱい見えているんだろね。なんだか羨ましいような気がするな。」母は、珍しくビールでも飲んだらしく、いつもよりもっと強烈に雄弁になつ

ている。

「あなたは何をのんきなことを言っているの。由起夫が、いつまでもああやって気ままな暮らしをしているのを見ると、悠太に悪い影響が出ないか心配でしかたがないのよ。例えば極端な話、大人になつても毎日働かなくてもいいんだ、なんて思つて勉強の意欲をなくしていったとしたら、どう責任取つてくれるのかしら。」

父が何かを答えているようだったが、はつきりとは聞こえなかった。ただ、僕のことぐうちゃんが責められるのは少し違う気がする。そう思うと、電気の消えたぐうちゃんの部屋が急に寂しく感じられてきた。

[B] 残暑が厳しい日だった。⑦ 久しぶりにぐうちゃんのほら話を聞きたいと思つた。またからかわれてもいい。暑いから、今度は寒い国の話が聞きたい感じだ。ところが、ぐうちゃんの話は、てつかい動物のでも、暑い国でも、寒い国の話でもなかった。

⑧ 「旅費がたまつたから、これからまた外国をふらふらしてくるよ。」ぐうちゃんは突然そう言つた。「でもまあもう少し。」にはこんな意味があつたのか。ぐうちゃんはいつともと変わらずに話を続けている。それなのに、ぐうちゃんの声はどんどん遠くなつていく。気がつくつと、僕はぶつきらぼうに言つていた。

「勝手に行けばいいじゃないか。」

⑨ ぐうちゃんは、そのときちよつと驚いた表情をした。何かを話しかけようとするぐうちゃんを残して僕は部屋を出た。

⑩ それ以来、僕は二度とぐうちゃんの部屋には行かなかつた。母は、そんな僕たちに、あきれたり慌てたりしていたけれど、父は何も言わなかつた。

⑪ 十月の初めに、ぐうちゃんは小さな旅支度をして「いそろう」を卒業してしまつた。

⑫ 出発の日、僕は、何て言つていいのかわからないままぐうちゃんの前立っていた。ぐうちゃんは僕に近づき、あの表情で笑つた。そして、何も言わずに僕の手を握りしめ、力の籠もつた強い握手をして、大股で僕の家を出ていった。

「ほらばっかりだったじゃないか。」  
 「いそろう」がいなくなってしまう部屋の前で、僕はそう思った。

ぐうちゃんから外国のちよつとしゃれた封筒で僕に手紙が届いたのは、それから四か月ぐらいたってからだだった。珍しい切手がいっぱい貼ってあった。

「あのとこの話の続きだ。以前若い頃に、北極まで行ってイヌイットと暮らしていたことがあるんだ。そのとき、<sup>⑤</sup>アイスプラネットを見に行こう、と友達になつたイヌイットに言われてカヌーで北極海に出た。アイスプラネット。わかるだろう。氷の惑星だ。それが北極海に本当に浮かんでいたんだ。きれいだつたよ。厳しい自然に生きている人だけが目にできる、もう一つの宇宙なんだな、

と思つたよ。地上十階建てのビルぐらゐの高さなんだ。そして、海の中の氷は、もつともつとてつかい。悠<sup>ゆ</sup>君にもいつか見てほしい。若いうちに勉強をたくさんして、いっぱい本を読んで、いっぱい『不思議アタマ』になつて世界に出かけていくとおもしろいぞ。世界は、楽しいこと、悲しいこと、美しいことと満ち満ちている。誰もが一生懸命生きている。それこそありえないほどだ。それを自分の目で確かめてほしいんだ。」

手紙には、ぐうちゃんの力強い文字がぎつしり詰まっていた。  
 そして、封筒からは写真が二枚出てきた。一枚は人間の倍ぐらゐあるてっかいナマズの写真。もう一枚は、北極の海に浮かぶ、見た者を幸せにするという氷の惑星<sup>氷の惑星</sup>の写真だった。

(1) 線①「むつとした。」とありますが、これは「僕」がぐうちゃんのだような言葉に対してどのように感じてむつとしたのですか。次の文の

④⑤に当てはまる言葉を文章中の言葉を使って書きなさい。(5点×2)

④「僕」と感じてむつとした。

⑤「僕」と感じてむつとした。

20

35

30

25

(2) 線②「失敗した」とありますが、「僕」はどんなことを「失敗した」と思つたのですか。文章中の言葉を使って五十字以内で書きなさい。(15点)


(3) 線③「あまり……行かなくなつていた」とありますが、このときの「僕」について説明した次の文の□□に当てはまる言葉を書きなさい。(5点)

ぐうちゃんから少し□□としている。

(4) 線④「父と母が話している」とありますが、ぐうちゃんに関する二人の思いを説明したものととして、当てはまるものを次から一つずつ選び、記号で答えなさい。(完答5点)

- ア 息子との間に生じた気まずい関係を早く修復してほしいと願っている。
- イ 息子の近くでもつと未知の世界の話をしてあげてほしいと思つている。
- ウ 息子に悪い影響を与えかねない自由な暮らしぶりに不安を感じている。
- エ このまま仕事につかずにいそろうを続けることに怒りを覚えている。
- オ 日常生活では気づけないことを経験できる生き方

父 □□  
 母 □□

(5) 線⑤「久しぶりにぐうちゃんのほら話を聞きたい」について、次の各問いに答えなさい。

1 「僕」がぐうちゃんの話をとつても聞きたがつていことがわかる一文を、文章中から抜き出しなさい。(5点)

□□

←問題は次ページに続きます。

2 ぐうちゃんは「僕」に、この後どのようなことを話しましたか。二十字以内で書きなさい。(10点)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3 ぐうちゃんの話を聞いたことによる動揺で、「僕」の気持ちが変わっている様子が伝わるように表現されている部分を、文章中から連続する二文で抜き出し、初めと終わりの五字を書きなさい。(5点)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(6) 線⑥「ぶつきらぼうに」の意味として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。(5点)

- ア 無愛想に
- イ いつも通りに
- ウ 丁寧に
- エ ごく自然に

(7) 線⑦「それ以来、...行かなかった。」とありますが、どうしてですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。(5点)

- ア あまりに自分勝手な加減なぐうちゃんの態度に腹が立ち、しばらく口もききたくないと思ったから。
- イ ぐうちゃんが旅に出かける準備で忙しそうで、自分が聞きたかったほら話は聞けないと諦めたから。
- ウ ぐうちゃんとの間に距離を感じてしまい、ぐうちゃんの話を聞こうという気になれなかったから。
- エ 全面的にからかわれて以来、ぐうちゃんの話にすでに魅力を感じなくなっている自分に気がついたから。

(8) 線⑧「アイスプラネット」を初めて見たとき、ぐうちゃんは、それをどんな存在だと感じましたか。文章中から二十八字で抜き出し、初めと終わりの五字を書きなさい。(5点)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(9) ぐうちゃんは、手紙と写真を通して、「僕」にどのようなことを伝えたかったのですか。文章中の言葉を使って、「世界は、想像もつかないくらい、...」「...」といふこと。」に続くように、六十字以内で書きなさい。(15点)

世界は、想像もつかないくらい、

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ということ。

(10) 思考力判断力表現力 「僕」が、ぐうちゃんに手紙の返事を書くとしたらどのようなことを書くと考えられますか。「僕」が手紙や写真から受け取ったことを踏まえて、ぐうちゃんに語りかけるように六十字程度で書きなさい。(15点)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### 3 「聞く」 問いを立てながら聞く / 季節のしおり 春

#### 知識の確認

- 提案の内容を聞くときに考えること
- 意見とその根拠について、疑問点や確認することはないか。
- 意見と根拠が適切に結び付いているか、根拠は客観的か。

**【提案の内容】**

私は、新入生に中学校を知ってもらうため、定期テストの説明を提案します。

中学校で定期テストがあることは、小学校との大きな違いであり、定期テストを知らない新入生にとって、有益だと思えます。

また、中学校入学で不安に思うことをきいたところ、定期テストがあるということが一位でした。来年中学校に入学する私の妹も、定期テストを不安に思っています。

新入生が不安なく中学校生活を楽しめるように、定期テストの説明をするのがよいと思います。

**【疑問点や確認したいこと】**

- ◆ 意見と根拠の結び付き
  - △ 小学校との違いは他にもあるが、なぜ定期テストなのか？
  - ↓ 意見と根拠の結び付きが弱い。
- ◆ 根拠の客観性
  - △ アンケートの時期、対象者、その他のアンケート項目は？
  - ↓ 不安に思っていること以外にも、新入生が知りたいこと（興味や関心など）があるのではないか。
- 具体例はわかりやすい。

#### 知識の確認問題

次は、国際交流のために短期で訪れるオーストラリアの中学生に、日本の漫画を紹介する提案原稿と、その提案を聞いた別のクラスの同級生が作ったメモを元に整理したものです。これらを読んで後の問いに答えなさい。

**【提案原稿】**

私は、留学生に日本への理解を深めてもらうために日本の漫画の紹介を提案します。

漫画なら、絵を通して日本の生活や人々の考え方がわかりやすい。海外では日本の漫画が人気だ、というニュースを見ました。また、カナダから来た私の友達も、漫画で日本語や日本のことを勉強したそうです。漫画で、留学生に、日本について多くのことを知ってほしいと思います。

**【提案を聞いてとったメモを整理したもの】**

意見	根拠①	根拠②
留学生に漫画を紹介。	A	海外では日本の漫画が人気。 カナダの友達
△日本を理解できるかは漫画の種類による。	B	△どういう調査？ 人気があるのはどの年齢層？ △どのような内容の漫画が人気？
△日本を勉強できるかは漫画の種類による。 △どういう調査？ 人気があるのはどの年齢層？ △どのような内容の漫画が人気？	C	〇具体例は、理解しやすい。

(1) A に当てはまる「根拠」の内容を、「提案原稿」の言葉を使って書きなさい。

(2) B・C に当てはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

**季節のしおり 春**

教科書 P.27

① 七草がゆを食べる、一月七日の節句のこと。

② ひな人形を飾る風習がある、三月三日の節句のこと。

ア 端午の節句 イ 人日の節句 ウ 上巳の節句

◆ 次の行事の説明に当てはまるものを後から一つ選び、記号で答えなさい。

せりなすな ぎぎょう はこべら  
ほとけのぎ すすな すすしろ

①

②

4

枕草子

単元の確認

作者・作品の確認

● 作者：清少納言（二条天皇の中宮であった定子に仕えた女房）  
● 書かれた時代：平安時代中期

同時期に紫式部が書いた「源氏物語」がある。

● ジャンル：随筆

● 作品内容：以下の三つに大きく分類される。文章は簡潔。

- 特定のテーマに沿って関連する事物を並べた部分
- 宮仕えをしていた頃の見聞を記した回想の部分
- 季節の感想や人生観などの思いをつづった随想の部分

枕草子

● 「春はあけぼの」…

第一段			
季節	古文の書き出し	時刻	取り上げた事物
春	春はあけぼの。	明け方	山ぎは・雲
夏	夏は夜。	夜	月・螢・雨
秋	秋は夕暮れ。	夕暮れ	烏・雁・風の音・虫の音
冬	冬はつとめて。	早朝	雪・霜・炭・火桶の火 など

作者独自の季節感で書きつづけている。  
※春・秋は好ましいもの、趣のあるものについて述べているが、冬は、好ましくないものについて述べている。

特徴的な表現		批評の言葉		意味	
をかし	趣がある・よい・おもしろい	をかし	趣がある・よい・おもしろい	対になる言葉	山ぎは
あはれ	しみじみとしたものを感じさせる	あはれ	しみじみとしたものを感じさせる	対になる言葉	山ぎは
つきづきし	似つかわしい	つきづきし	似つかわしい	対になる言葉	山ぎは
わるし	好ましくない	わるし	好ましくない	対になる言葉	山の端

● 「うつくしきもの」…作者の視点による「かわいらしいもの」を並べる。  
● 「月のいと明かき」…月明かりに照らされた、一瞬の美しい情景を描く。

● 歴史的仮名遣いや古典で使われる言葉に注意しながら読む。  
● 清少納言のもの見方・感じ方を、対になる言葉・省略・批評の言葉などに注意して読み取る。

作者・作品の確認問題

1 「枕草子」について述べた次の文の①～④に当てはまる言葉を後からそれぞれ一つずつ選び、書きなさい。

● 「枕草子」は、①時代の中期に②によって書かれたもので、文学作品の分類のうえでは③というジャンルの作品である。

● 「春は……」で始まる第一段では、作者の④に対する思いが描かれている。

①

②

③

④

和泉式部	兼好法師	清少納言	奈良	平安	鎌倉	物語
日記	随筆	小説	中宮	宮中	人生	四季
						政治

2 「枕草子」で使われている表現で、趣があるという意味の古語を一語で書きなさい。

3 「枕草子」の作者がそれぞれの季節で取り上げている時間帯を現代語で書きなさい。また、春と冬は古語も書きなさい。

冬	秋	夏	春
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
古語			古語
<input type="text"/>			<input type="text"/>

知識の確認

1 歴史的仮名遣い→現代仮名遣い・発音

参考104・116ページ 知識の確認

(3)	(2)	(1)
「ア段」の音十う(ふ) ↓才段の長音 au ↓ô	を(助詞以外) ↓お	語頭以外の はひふへほ ↓わいうえお ほ ↓お
まう→もう まうす (mausu) ↓ (mōsu) もうす	をかし ↓おかし ひをけ ↓ひおけ …火桶	いはく ↓いわく こよひ ↓こよひ …今宵 とふ ↓とう …問う こたへて ↓こたえて …答えて とほし ↓とおし …遠し
まふ→もう たまふ ↓ たまう (tamau) ↓ (tamō) たもう	をどる ↓おどる …踊る	

2 古典で使われる言葉

(1) 現代では使われなくなった言葉

はた	これもまた・やはり	つとめて	早朝・その翌朝
いと	とても・たいそう	つきづきし	似つかわしい

(2) 現代とは違った意味で使われている言葉

例 をかし

古典語…趣がある・風情がある・おもしろい・美しい など  
現代語…おかしい・変わっている など

例 あはれ

古典語…かわいい・しみじみとした情趣がある など  
現代語…気の毒だ・みじめだ など

(3) 助動詞「たり」「たる」は「たり」が活用したもの

意味…「……ている」「……である」「……た(てしまった)」

例 たなびきたる…たなびいている

例 降りたるは…降っているのは

例 瓜にかきたる…瓜に描いてある

例 見せたる…見せている

3 語句の省略

(1) 文末の語句の省略

効果…体言止めのような余韻を残す

例 ほそくたなびきたる。 …細くたなびいている(のは風情がある)。

例 飛びちがひたる。 …飛びかっている(のがよい)。

(2) 助詞の省略

例 火などいそぎおこして、炭もて渡るもいとつきづきし。  
火などを急いでおこして、炭を持って通っていくのも、たいへん似つかわしい。

知識の確認問題

1 歴史的仮名遣い 次の線を現代仮名遣いに直しなさい。

① なほ

② 飛びちがひ

③ をかし

④ あはれ

⑤ 言ふ

⑥ とらへて

2 歴史的仮名遣い 次の言葉を現代仮名遣いに直し、全て平仮名で書きなさい。

① やうやう白くなりゆく山ぎは

② 山の端いと近うなりたるに

③ いそぎて這ひ来る道に

④ 目に髪のおほへるを

③ 古語の意味 次の古語の意味として適切なものを後からそれぞれ一つずつ選び、書きなさい。

①	いと	②	をかし
③	あけぼの	④	はた
⑤	つとめて	⑥	つきづきし
⑦	わろし	⑧	うつくし
⑨	ちご		

明け方	似つかわしい	たいそう	かわいらしい	幼児
趣がある	早朝	また	好ましくない	

④ 古語の意味 次の——線の古語の意味として適切なものを後からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

①	やうやう白くなりゆく	ウ	だんだんと
②	すこしあかりて	ア	少し明るくなって
③	紫だちたる雲	イ	紫の色が目立っている
	ア 紫が濃くなっている	ウ	紫がかっている

④ まいて雁などのつらねたるが

ア 列を作っているのが  
イ 空を飛んでいるのが

ウ 集まって寝ているのが

⑤ またさらでも  
ア そうでなくても  
イ そうだとしても

ウ そうなっても

⑥ ぬるくゆるびもていけば

ア ぬるくゆるくなっていくと  
イ だんだんゆるんでいくと

ウ 少しずつましになっていくと

⑦ をかしげなる指にとらへて

ア おもしろそうに指でつまんで  
イ かわいらしく指でつまんで

ウ 愛らしい指でつまんで

⑧ 牛の歩むままに

ア 牛が歩く方向に  
イ 牛が歩くにつれ

ウ 牛が歩くのに任せて

⑤ 語句の省略 次の言葉を現代語にするときに必要な□に当てはまる言葉を、それぞれ平仮名一字で書き、現代語訳を完成させなさい。

①	雨など降るも	↓雨など	□	降るのも
②	小さく見ゆるは	↓小さく見える	□	は
③	日入り果てて	↓日	□	すっかり沈んでしまつて
④	物など見たるも	↓物など	□	見ているのも

6 「枕草子」の第一段を暗記し、次に続くように書きなさい。

春は

たなびきたる。

夏は

降るもをかし。

秋は

あらず。

冬は

漢字の確認

教科書 p. 28 ~ 31

わろし。

◆ 漢字の読み書き — 線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。

① 紫が|かつた雲。

② 闇に|まぎれる。

③ 趣深|い風景。

④ から|すの寝どころ。

⑤ 霜の|降りた朝。

⑥ 廊下|を通る。

⑦ 踊る|ように歩く。

⑧ 水晶|が割れる。

⑨ ズイ|ヒツ文学。

⑩ カン|ケツな文章。

⑪ 月が|出るコロ。

⑫ ホタル|が飛び。

⑬ ユウ|グレの空。

⑭ 雪が|ふる。

⑮ 道路を|ワタる。

⑯ 顔を|カナムける。